

大和映像サロン ニュースレター

令和8年 3月号 No.539 2026年（令和8年）3月1日発行

2026年2月勉強会報告

2月12日（木）14時00分から、勉強会をシリウス 606号室にて開催しました。

出席者 佐藤、嶋崎、関、土屋、樋口、樋田、三浦、山本 以上 出席者 8名
欠席者 4名、通信会員1名

今回の勉強会は、2月14日（土）に開催される「大和市学習センターまつり」の大和映像のコーナーの上映作品のリハーサルを行いました。

ナレーションを含む全作品を収めたBDを事務局が用意し、それを一挙に上映して内容を確認をしました。

その結果、作品紹介のナレーションと映像開始までの間隔が短いという指摘があり、この間隔を数秒間ほど伸ばすことにしました。

作品の内容については12月と1月のニュースレターの記事を参照ください。



会長報告・連絡事項

会長報告

1) 「大和市学習センターまつり」について

- ① 上映作品のプログラムを本日公布しますので内容の確認をお願いします
- ② 当日の役割分担等について本日確認します
- ③ 集合：2月14日（土）13:30
シリウス1階ロビー・サブホール入り口付近
- ④ ユニフォームの着用をお願いします
- ⑤ 受付業務は会員同士の交代で行い、アンケートの配布と回収をお願いします
- ⑥ 今回出品の全作品をまとめたBDを作成しますので、希望者は事務局へ申し込んで下さい

2月勉強会通常作品

- 1) 「テスト編集 山下公園界限」 3:08 佐藤 昌孝
撮影：2026年1月 カメラ：OSMO Pocket3
カラーグレーディングを勉強中の作者。所有しているカメラで4KのRAW撮影を行い、色補正を行なったテスト作品。発色をややブルーがかった色調をねらったとのこと。

カメラのRAWデータがEDIUSに取り込めなかったためDaVinci Resolveで色補正し、さらに1080Pに書き出し、やっと見える形になったとのこと。

色補正を使ってみたという意欲は素晴らしいです。まず第一歩です。

Yamato Eizo Salon News Letter

2) 「悠々 虔一郎さん」 11:42 山本 禎弘

カメラ：Sony FX-1

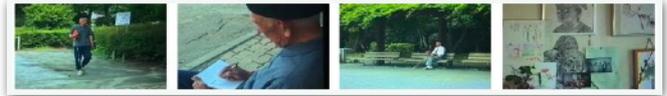
大和市桜ヶ丘の高齢者マンションで一人暮らしの男性の新聞記事を見て本人にコンタクト。許可を得て撮影して作品化したもの。2002年の作品

朝夕2000歩の散歩、そしてスケッチ。また、公園の散策時に拾った枯れ枝で仲間のために杖をつくる。

そして週3日ほど、会社の経営者の一人として東京まで通うという日々。

海外駐在時に寂しさを紛らわすために歌った「ふるさと」が今も愛唱歌となっている。娘さんがやってくるとフランスワインを飲んで、その愛唱歌を歌う。

生き方とは何かを問う素晴らしい作品だと思います。



「大和市学習センターまつり」参加

土屋会長報告

2026年第38回「大和市生涯学習センターまつり」が、2月14、15日にシリオスにおいて開催されました。

両日共に晴天に恵まれ、14日、15日両日とも大勢の人で賑わいました。

当クラブの発表は14日午後2時から行われ、会員制作のビデオ作品7本を上映。それぞれの作品に大きな拍手を頂きました。

会員出席者 片野、佐藤、関、土屋、樋口、樋田、三浦、宮崎、山本 以上9名

上映作品は、プログラムを参照ください。

また、作品の内容については12月と1月のニュースレターに掲載しています。

以下は、今回の「大和市学習センターまつり」全体の実行委員長に直前に任命された三浦副会長の感想です。

実行委員長と云う名の重責を感じておりましたが、進行内容等を学習センター担当者がまとめた資料が事前に渡され、それを元に発表すればいいとホッとした次第！

今回の発表部会は前回より少なく11団体で、全体的に持ち時間より早めに終了する団体が多い様に思えました。

ある団体(体操)の発表を覗いてみると、客席が9割方埋まり内8割が女性(中、高年)で、舞台と一緒にになって体を動かしており羨ましく思った次第です！

3月7日に全体反省会が有り、それが終わるまで緊張の日々・・・!!

この様な経験は一度やれば十分です。!

副会長 三浦 和生

舞台発表 1階 サブホール
両日ともに、開場は9:30
12時から13時の間は休憩時間のため、会場には入れません。

時間	団体名	内容
10:00~10:50	大和ハーモニカアンサンブル	ハーモニカ演奏
11:00~11:45	大和民謡民舞協会	民謡・舞踊・地球舞踊、唄と演舞
13:00~13:50	公益社団法人日本吟詠学苑公認緑神会	感動の詩吟 (さくら文芸祭作品・書道時・歌謡吟詠)
14:00~14:50	大和映像サロン	会員制作のビデオ作品上映
15:00~15:50	カモの会	健康体操

2/15(日)

時間	団体名	内容
10:00~10:50	トロンボーンアンサンブル TENUITO	トロンボーンアンサンブルの演奏
11:00~11:50	VIFサクソフォンアンサンブル	サクソ12重奏の演奏 ※6階特設会場あり
13:00~13:50	大和ハーモニカ愛好会	ハーモニカの演奏 アンサンブル・独奏
13:55~14:25	コール・コサージュ	女声コーラス
14:30~15:00	横濱浜風	阿波踊りの演舞 ※6階特設会場あり
15:05~15:35	大和市確楽協会	確楽の生演奏、珍しい楽器の紹介 ※6階特設会場あり
15:40~16:30	大和ウクレレ倶楽部	ウクレレ演奏と歌唱

プログラムは以下のリンクでご覧いただけます。

[「学習センターまつりプログラム」](#)



Yamato Eizo Salon News Letter

2026年2月定例会報告

2月26日（木）14時00分から、2月の定例会をシリウス604号室にて開催しました。

出席者 片野、佐藤、嶋崎、土屋、樋田、三浦、
山本 以上 出席者 7名
欠席者 5名、通信会員1名

今回の定例会は、「大和市学習センターまつり」の反省会を最初に行いました。

その後、通常通り作品発表を行いました。

「大和市学習センターまつり」反省会

当日は晴天に恵まれ、多くの入場者が来られましたが、会員それぞれ感想、意見等を出して話し合いました。

「大和映像サロン」の発表に関して

- ・作品の上映時に、しゃべり続ける観客がいた
- ・ポリ袋を触り（継続的に）ガサガサ音をたてる観客がいた
- ・通路側の座席に座る観客が多い一方、後部で立っている観客がいた
- ・いずれも年配者のようで、本人は自覚していない様子
- ・とはいえ、観客を夢中にさせる作品をつくるのが大切、という意見も
(素人の制作者としては、やるせない)

2月定例会上映作品

- 1) 「串本の火祭り」 12:00 奥根 公平
撮影：2026年1月

芝を焼いて害虫を駆除し、新芽の生育を促す行事が、「本州最南端の火祭り」としてイベント化。地元の物産販売や踊りが披露され、名産のトビウオを使った「しよらさん鍋」などが振る舞われます。

またトルコの民族舞踊なども披露されます。

夕暮れを合図に、地元の高校弓道部員の弓により火矢が放たれ、芝に点火されます。

ここの芝は平地にあるので、近くで燃え上がる様子が一望に見渡せて、圧巻です。

90歳を過ぎても映像作りに励む作者に頭が下がります。



会長報告・連絡事項

- 1) 来月は今年度最後の月となります。4月の総会に向けて大和映像サロンの今後の運営等についてご意見をお寄せください。

3月の勉強会と定例会で、それらの内容について話し合いを持つ予定です。

「大和市学習センターまつり」全体として

- ・学習センターに登録している団体は多いのだが、出品や発表するグループは減っている
- ・6階の会場の出展は例年より少ないように感じた

以上の感想や意見は、3月7日に開かれる実行委員会（委員長・三浦副会長）で、他の団体の代表を交え総括が行われます。



Yamato Eizo Salon News Letter

- 2) 「溝の口駅西口商店街」 5:00 佐藤 昌孝
作成：2026年2月 カメラ：OSMO Pocket3

戦後誕生した食料品や雑貨を扱うヤミ市の面影を残す商店街。昭和の雰囲気を残す老舗には常連客や仕事帰りと思しき人々が立ち飲みを楽しむ。

そんな商店街の昼と夜。ややブルーがかかった色補正が雰囲気をとらえています。

アーカイブ映像として残したいと作者。

じっくり昭和を感じたいシーンもありましたので、ところどころ静止画やスローモーションなどのシーンもあればと思いました。



- 3) 「女性コーラス発表会」 7:00 土屋 翁三
作成：2026年2月 カメラ：2台
センター祭りでの女性コーラスグループ コール・コサージュの演奏を、依頼を受けて撮影。
発表全5曲のうち2曲をビデオで鑑賞。

昭和の歌謡曲も。

「平均年齢77歳です」と指揮者がグループを紹介。ぜひ参加をと呼びかけています。



- 4) 「中華街 春節 龍舞」 9:00 樋田 誠
作成：2026年2月 カメラ：Sony VZ-E1
最近購入したカメラのテストとして撮影した横浜中華街の春節の一コマ。

龍舞のシーンを撮っていますが、人が多く客席から動くことができなかつたのが残念と作者はいます。

35mmフルサイズのセンサーを搭載した最新カメラでの撮影は、とても鮮明で手ブレも気にならず素晴らしい映像となっていました。



- 5) 「iPhone17ProのLog撮影とその編集」 20:00
プレゼンテーション 嶋崎 哲
アップルのFinal Cut Pro XでのLogデータの編集の手順などを、動画を含むプレゼンテーションで紹介。

色を作り出すことの複雑さの一端をわかりやすく説明。それより、標準の色でいいのでよりよい作品を作れ！と発表者自身に言い聞かせていました。



あとがき

2月1ヶ月間にわたり日経新聞の「私の履歴書」に掲載された大石芳野さんという女性写真家の記事を読みました。

遊びであっても安易な気持ちで映像は撮れないと、いまさら感じています。

編集子2024

3月の開催

- ・3月12日（木） 勉強会 14:00 - 16:00 606号室
- ・3月26日（木） 通常例会 14:00 - 17:00 606号室

大和映像サロン

発行・事務局 土屋 翁三

〒242-0012 大和市深見東1-1-12 TEL 046-263-6623 FAX 046-264-7350